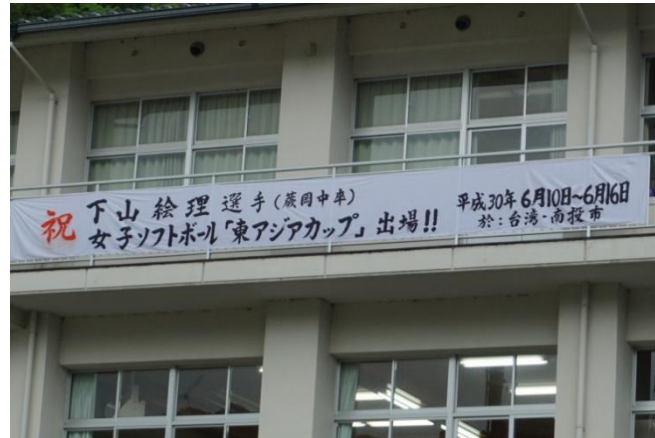


さわらび

平成30年5月8日(火) No. 4 文責:大塚

～先輩たちのがんばり～

本校卒業生の下山絵理さん(平成25年度卒業)が、ソフトボールの全日本大学女子選抜チームの一員として、台湾・南投市で開催される「第7回東アジアカップ」に出場することが決まりました。そのがんばりを称え、また活躍を祈念して、本校の3階ベランダに応援の横幕を設置しました。



絵理さんは、現在、園田学園女子大学のソフトボール部に所属しています。この大会の選考については、日本ソフトボール協会のホームページによると、4月18日(水)～20日(金)の3日間、愛知県安城市のデンソーブライトペガサスのグラウンドにおいて、選手選考会が行われたそうです。

【日本ソフトボール協会 HP より】

全国から「精鋭」37名が参加し、「第7回東アジアカップ」に出場する代表選手17名の座をめざし、厳しい選考に臨んだ。(中略)野手の中では唯一2年生、この選考会でも持ち前の思い切りの良いバッティングでホームランを放った下山絵理も選出。昨年の第12回世界女子ジュニア選手権大会でも打線の中軸を任された「大型スラッガー」の「アジアの舞台」での活躍にも期待したいところだ。

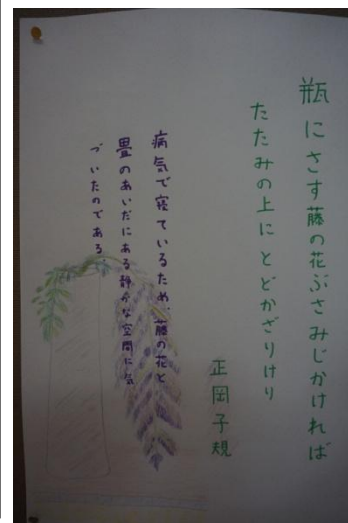
※1年生も中学校生活に慣れてきて、部活動も始まりました。それぞれの目標を持って、先輩たちに追いつけ追い越せです。

「新生へメッセージ」

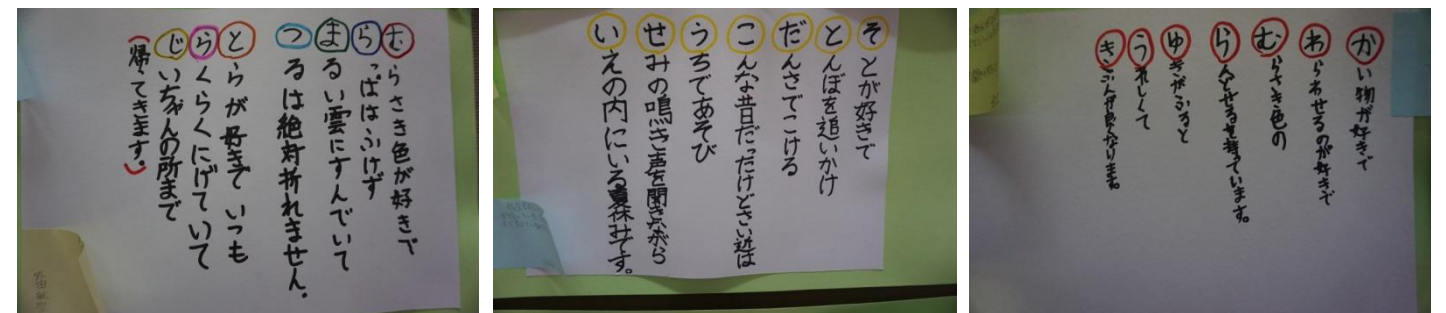
外田さくら

中学校は1時間が50分授業です。各教科で先生がかわり、英語や技術のように小学校ではなかった教科も始まります。私も入学したときは、新しく始まる教科や少し長くなる授業に不安を感じることもありました。けれど、授業が始まるとそんな不安も消えました。どの教科の先生もていねいに分かりやすく教えてくれるので、授業が長くなったと感じることもあまりありませんでした。

苦手な教科も少しずつですが、克服できているのではないかと思います。新しい環境で勉強をするということに不安を感じることもあるかもしれませんが、授業を受けていくうちに、そんな不安もなくなるはずですよ。「みんなで学びを深めあうこと」それが授業だと私は思います。



～折り句 de 自己紹介～



上は、4月はじめの国語の授業で1年生3人が書いた「折り句で自己紹介」です。階段踊り場に掲示しています。また、左は、同じく国語の授業で花奈さんが書いた短歌の鑑賞画です。林Tと一緒に実際に床に花びんを置いて正岡子規と同じ視点で見せていました。